
GlobalFamily UNIX サーバー版 6.19R04

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2008年7月31日

製品情報

=====

バージョン : Ver. 6.19R04

=== 変更内容 ===

=====

新機能

=====

■ユーティリティ

- ・配布コードのメンバーに登録されたメールアドレスの不正をチェックするユーティリティ (dist_address_chk) を追加しました。
-

仕様変更

=====

■全般

- ・バックグラウンド処理要求が滞留した状態であっても、プロセスのタイムアウトを検出できるようになりました。
- ・Oracle10g のオプティマイズがコストベースにデフォルト化されたことに伴い、インデックスを明示的に利用して検索するように変更しました。
詳細は、『GlobalFamily 運用手順書』の「デフォルト ファイルの変更」に記載されている「SQL ヒントモード」をご参照ください。

■ワークフロー

- ・サーバー環境設定ファイルを変更することで、ビューアーファイルの添付ファイル領域に、履歴情報ファイル(history.txt)を含めることができるようになりました。

■ユーティリティ

- ・以下の不要データ削除ユーティリティで、一定期間経過したデータだけを削除できるようになりました。

- (1) 不要実データのチェックと削除(df_s_chkm)
- (2) フラグ(文書更新中/キーワード更新中/文書読み込み中)リセット(df_s_delr)
- (3) 不要スケジュールメモ文書の削除(del_s_sch_memo)
- (4) ワークフロー不要添付データの削除(nwf_s_chk_append)

詳細は『GlobalFamily 運用手順書』の各ツールの項目をご参照ください。

■ツールキット

- ・ユーザー/グループ情報の登録/更新/削除ツール(tk_s_ucug)で、ユーザー登録/更新を「処理区分 09, 0C」で処理した場合のパスワード有効期限を、以下のように改善しました。

- (1) ユーザーを新規登録する場合は、Global の設定によって下記ようになります。
 - 「初回ログインでのパスワード変更を強制しない」設定の場合は、パスワード有効期限がユーザー登録時点でリセットされます。
 - 「初回ログインでのパスワード変更を強制する」設定の場合は、ユーザーパスワードが有効期限切れ状態になります。
- (2) ユーザーを更新する場合は、下記ようになります。
 - パスワードが更新対象だった場合、パスワード有効期限がユーザー更新時点でリセットされます。

※パスワード有効期限をリセットさせない場合は、オプションに-px を指定するか、「処理区分 03, 08」でユーザー登録/更新してください。

■SMTP ゲートウェイ

- ・エラー返信するメールの相手先アドレスが PostMaster またはアドレス不正の場合、返信を規制できるようになりました。
詳細は『GlobalFamily 運用手順書』の「サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。

不具合修正

■スケジュール

- ・24時間を超える会議開催スケジュールを出席にしてメモを更新すると、「プロトコル設定内容に誤りがあります。」のメッセージが表示され、メモの更新ができない不具合を修正しました。
- ・定例の会議開催で、参加者にメールアドレスが指定されていると、「会議スケジュールの開催に失敗しました。」のメッセージが表示され、更新できない不具合を修正しました。
- ・会議室・施設の予約管理者にグループが指定されていた場合、予約されたスケジュールを予約管理者が参照しても、[承認] / [否認] ボタンが表示されない不具合を修正しました。
- ・重複禁止のユーザー/会議室・施設で未確定スケジュールが複数存在しているときに、スケジュールを確定(予約承認/スケジュール出席/確定スケジュール登録)させると、確定したスケジュールの開始日時と同じ日時で終了する未確定スケジュールが削除される不具合を修正しました。

■ファイル

- ・GlobalFamily Web クライアントのフォルダー履歴表示で、自動削除された文書の履歴が表示されない不具合を修正しました。

■ワークフロー

- ・データ種別が「添付ファイルのみ」のメールインスタンスで、添付ファイルが多いとメモリーリークが発生する不具合を修正しました。
- ・以下の条件すべてに該当する場合、保存インスタンスで保存した文書に、キーワード情報が設定されない不具合を修正しました。
 - (1)保存種別が「分割する」または「両方保存」
 - (2)保存インスタンス登録者が「起案者」または「テンプレート管理者」
 - (3)保存インスタンスのデータ種別が「ビューアーデータ」
 - (4)遂行者に保存先フォルダーの文書登録権がない
- ・保存インスタンスのテンプレート指定ディレクトリーにXMLファイル(拡張形式)で書類を保存する場合、添付ファイル名に「&'<>」が含まれていると、不正な形式のXMLファイルで保存される不具合を修正しました。
- ・保存インスタンスが設定されている書類で、ワークフロー文書、またはXMLファイル形式の文書が保存されるときに、保存インスタンスの「通知先」または「参照セキュリティ」に設定されたユーザー/グループ/役職が削除されていると、書類を保存でき

ない不具合を修正しました。

- ・否認などで同じメールインスタンスを複数回通過した場合に、ワークフロー文書の処理履歴で、メール送信履歴が1回分しか表示されない不具合を修正しました。
- ・優先処理区分が「否認優先」のAND分離インスタンスで、遂行者から分離前までに宛先未設定でスキップされたインスタンスがあった場合、分離先ルートの中に宛先インスタンスがないと、残りのルートが処理されない不具合を修正しました。
- ・起案日時タグ<GFLOW-START-DATE>が指定された帳票を使用した書類で、起案日時タグより後ろに起案者情報タグ<GFLOW-USERINFO>が指定されている場合、起案日時が設定されない不具合を修正しました。

■ユーティリティ

- ・不要データ削除ユーティリティ (up_de1d) の不要スケジュールデータ削除 (up_sch03) で、メモ文書データが見つからないとスケジュールデータが削除されない不具合を修正しました。
- ・不要データ削除ユーティリティ (up_de1d) の不要スケジュールデータ削除 (up_sch03) を実行すると、スケジュールコードのメモが表示されなくなる不具合を修正しました。
- ・データファイルのバイトオーダー変換ユーティリティ (up_swap) で、スケジュールモードの携帯端末表示文字列がバイトオーダー変換され、文字化けする不具合を修正しました。

→